

	課題名	追加配分等案件名	概要	新規/ 加速	配分額 (百万円)	評価WGの結果	
						採用	不採用
1	ビッグデータ・AI を活用したサイ バー空間基盤技術	ヒューマン・インタラクション 基盤技術の社会実装に向けた オープンイノベーション活動	本プロジェクトの社会実装に向けたコン ソーシアムを形成し、成果である介護支 援システム等を用いてビジネスを展開する 企業、ユーザとなる企業等の参画を促 し、サービス産業のオープンイノベーショ ンプラットフォームの構築を行う。	加速	100.0	7	1
2		分野間データ連携基盤の社会実 装加速のための推進団体設立 (data.jp+Datahub)	社会実装加速のための推進団体 (data.jp)を設立し、機能・ツール提供 システム(Datahub)の運営も実施するこ とにより、分野間データ連携基盤の早期 の社会実装を目指す。	加速	50.0	6	2
3		分野間データ連携基盤の国際的 な相互連携実現に向けた取り組 み	国際的な相互連携実現に向けた取り組み 及びアジア圏でのデータ連携のリーダシッ プの先取による、データ流通市場を創出 するため、標準化活動や各種団体との仕 様調整、連携に必要なデータ変換機能な どの機能実装等を実施する。	加速	100.0	6	2
4		分野間データ連携基盤のオープ ンイノベーション型ユーザ企業 参加の枠組み構築	新たに機能・ツール提供システム (Datahub)立上げを目指し、「データ提供 者」や、新サービスを創出する「データ 利用者」の拡大に向けた普及施策を強化 する。	加速	100.0	6	2

	課題名	追加配分等案件名	概要	新規/ 加速	配分額 (百万円)	評価WGの結果	
						採用	不採用
5	フィジカル空間デ ジタルデータ処理 基盤	エッジプラットフォーム (PF) の社会実装を加速するための連 携検討	エッジPFのPoCを早急に実施し、結果を フィードバックすることでエッジPFの社 会実装評価を前倒しする。また、SIPサイ バー及びセキュリティと連携し相乗効果 を高めるテーマとしてデジタルヘルスケア を実施する。	加速	180.0	6	4
6		セキュアなエッジ推論のための マルチモーダルセンサプラッ トフォーム構築	複数センサと制御回路チップを一体化し た小型・高性能なMSMを容易に実現可能 とするプラットフォームを構築する。	新規		6	4
7	統合型材料開発シ ステムによるマテ リアル革命	実大部材の早期試作による従来 にない積層設計への逆問題解析 手法の適用加速	空のモビリティへの社会実装を狙って開 発期間を短縮するため、積層装置を実用 的な部材製造が可能な規模 (6m×2m) に前倒して拡大する。	加速	80.0	8	6

	課題名	追加配分等案件名	概要	新規/ 加速	配分額 (百万円)	評価WGの結果	
						採用	不採用
8	光・量子を活用したSociety 5.0実現化技術	量子セキュアクラウドの早期応用	量子セキュアクラウドシステムを構築し、生体認証データ等の安全な分散バックアップ保管を行い、将来の補償コスト等の低減のサービスモデルを検証することで、生体認証、スマート製造、警備保障、医療分野へのPOC機会拡大につなげる。	加速	220.0	11	0
9		CPS化のノウハウパッケージの提供	九州大学が持つ半導体材料のレーザー改質プロセスをCPS化のために必要な加工技術等の評価を、ギガフォトン株式会社、米国バデュー大学とともに実施し、東京大学で開発するCPS化のノウハウを適用するための課題の抽出等を本年度行う。	加速		10	1
10		PCSEL（フォトリソニック結晶レーザー）のFA分野への応用	FA分野におけるLiDARシステムを例として、PCSELの有用性を先行実証するとともに、PCSELの搭載によるシステムの小型化・ローコスト化（部品点数の大幅な削減）を先行検証し、加速的な社会実装へと繋げることを目指す。	加速		10	1

	課題名	追加配分等案件名	概要	新規/ 加速	配分額 (百万円)	評価WGの結果	
						採用	不採用
11	光・量子を活用したSociety 5.0実現化技術	光・量子活用領域のグローバルベンチマーキング強化	本課題の研究開発内容が、世の中のトレンドや市場要求等に則しているかをグローバルな視点から把握し、自らの戦略にフィードバックすることが不可欠であることから、この分野に強みを持つ海外調査・研究機関等を活用し、光・量子分野での調査を依頼する。	新規	60.0	11	0
12	スマートバイオ産業・農業基盤技術	農道走行に向けたロボット農作業機運用システムのロボスタ化	衛星受信が困難な区域で、自動走行の経路生成を補助するマーカー（白線やポール等）と、それを活用した環境認識ユニットシステム（カメラ、LiDAR等）を開発を行うとともに、新たなシステムに対応したロボット農作業機（小型トラクタ、軽トラ、薬剤噴霧機）の開発と実証を行う。	新規	200.0	8	2
13	脱炭素社会実現のためのエネルギーシステム	課題見直しに伴う必要額の追加	課題内の研究テーマを整理し、再度、研究開発計画を策定したが、再評価においてA評価相当を得たとしても課題推進上必要な成果が得られないことから、当初計画に近い成果を得るために必要な費用を追加配分として要望するもの。	新規	370.0	9	5

	課題名	追加配分等案件名	概要	新規/ 加速	配分額 (百万円)	評価WGの結果	
						採用	不採用
14	国家レジリエンス (防災・減災)の 強化	対話型災害情報流通基盤による デジタルツイン技術の開発および 実装加速	住民の自発的な避難行動を促進する ため、情報集約のための防災チャットボ ットを拡張し、集約された情報から避難者 一人ひとりを模擬した避難者モデルをサイ バースペース上に構築する。さらに、 デジタルツイン技術を利用した予測を行 い、避難者に対して様々な災害リスクの時 空間変化を可視化する総合リスクコン ター機能を開発する。	加速	150.0	11	1
15		首都圏地上デジタル放送波水蒸 気観測網整備の加速と自治体実 証実験への活用	地上デジタル放送波を利用した気象観 測・降雨予測技術を加速させ、当初計画 の首都圏の地上デジタル放送波観測に対 し、観測点を2倍に拡充することで関東全 域での線状降水帯予測を実現し、降雨予 測技術の確立を前倒しする。	加速	70.0	10	2
16	革新的深海資源調 査技術	深海底環境モニタリング装置 「江戸っ子1号」の高機能化と異 分野展開の本格化	国際海底機構（ISA）が2020年7月に採択 する見込みの「開発規則」に適應するた め、「江戸っ子1号」を高機能化する。ま た、深海底利用の様々なアイデアを持っ たベンチャー企業等の民間参画を募り、 環境モニタリング装置等を使った深海の 極限環境への挑戦を支援することにより 異分野への展開を図る。	新規	300.0	11	1
17		太平洋島嶼国を対象とした環境 モニタリングに関する人材育成	太平洋島嶼国の周辺海域では、深海資源 の賦存可能性が指摘されており、将来の ポテンシャルユーザーの開拓を目指して、 環境モニタリングの技術研修を実施し、 日本発技術の普及促進と相手国との信頼 関係の構築を図る。	新規	80.0	12	0
合計					2,060.0		